



# 平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月9日

上場会社名 株式会社レントラックス  
 コード番号 6045 URL <http://renttracks.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長  
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月9日  
 配当支払開始予定日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東  
 (氏名) 金子 英司  
 (氏名) 梶尾 幸介  
 TEL 03-3878-4159

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	6,183	13.9	303	20.1	304	19.9	209	13.8
29年3月期第3四半期	5,428	20.9	380	9.4	380	13.3	243	16.2

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 203百万円 (16.5%) 29年3月期第3四半期 243百万円 (16.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	26.84	26.46
29年3月期第3四半期	31.32	30.58

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第3四半期	2,491	1,835	73.6
29年3月期	2,642	1,671	63.2

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 1,833百万円 29年3月期 1,671百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		6.00	6.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				7.00	7.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,217	8.3	413	25.9	414	25.7	285	19.4	36.47

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

連結業績予想の修正については、本日(平成30年2月9日)公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

新規 1 社 (社名) 株式会社ユニバーサルメ 、 除外 社 (社名)  
ディアジャパン

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	7,891,800 株	29年3月期	7,822,200 株
----------	-------------	--------	-------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	60,105 株	29年3月期	60,105 株
----------	----------	--------	----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	7,809,676 株	29年3月期3Q	7,764,277 株
----------	-------------	----------	-------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	3
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	4
四半期連結損益計算書 .....	4
第3四半期連結累計期間 .....	4
四半期連結包括利益計算書 .....	4
第3四半期連結累計期間 .....	4
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	5
(継続企業の前提に関する注記) .....	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	5
(セグメント情報等) .....	5

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（平成29年4月1日から平成29年12月31日）におけるわが国の経済は、雇用情勢や企業業績の改善等、回復基調が継続しているものの、海外における米トランプ政権の運営に対する不安等の懸念材料により、景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

このような経済状況のもと、株式会社電通の「2016年日本の広告費」によれば、2016年の日本の総広告費は6兆2,880億円（前年比101.9%）、その中でも当社グループが属するインターネット広告市場においては、インターネット広告媒体費が1兆378億円（前年比112.9%）と堅調に成長を続けております。

当社グループでは、主力の成果報酬型広告サービス事業において、金融案件、自動車買取案件、引越、エステ、転職求人、土業、不動産関連など既存の各ジャンルにおける広告主様への注力を継続するとともに、物販等のその他新規分野の広告主様に対して営業の強化を図り、また広告掲載媒体運営者様に対して、より一層の連携強化に努めております。

2017年3月に株式会社GROWTH POWERを設立し、中古建設機械等の売買マッチングサイトの運営事業（販売仲介事業）を開始し、2017年5月にタイ（バンコク）、インドネシア（ジャカルタ）、中国（大連）に子会社を設立し、既存事業の拡充を図るとともに、インドネシアにおいてはECサイトの運営事業も開始しております。また2017年8月には、株式会社ユニバーサルメディアジャパンを設立し、インターネットウェブサイト等各種メディアの企画及び運営事業を開始しました。これら新規子会社の起ち上げに伴い、販管費等が増加しておりますが、グループ全体の売上高増加に寄与すべく、引き続き営業活動の推進を継続して参ります。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高6,183,405千円（前年同四半期比113.9%）、営業利益303,919千円（同79.9%）、経常利益304,789千円（同80.1%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は209,613千円（同86.2%）となりました。

セグメント別の売上高は、成果報酬型広告サービス事業が5,701,597千円（同112.2%）、検索連動型広告代行業業が445,794千円（同134.3%）、その他の事業が36,013千円（同225.3%）となっております。また、セグメント利益は、成果報酬型広告サービス事業が709,932千円（同96.3%）、検索連動型広告代行業業が64,836千円（同142.8%）、その他の事業が35,261千円（同363.4%）となっております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第3四半期連結会計期間末の総資産は2,491,034千円となり、前連結会計年度末と比較して151,454千円の減少となりました。これは、現金及び預金が42,882千円増加したこと、売掛金が151,698千円、前払費用が20,889千円、のれんが17,902千円減少したことが主な要因であります。

#### (負債)

当第3四半期連結会計期間末の負債は655,301千円となり、前連結会計年度末と比較して316,098千円の減少となりました。これは、買掛金が200,977千円、未払法人税等が109,049千円減少したことが主な要因であります。

#### (純資産)

当第3四半期連結会計期間末の純資産は1,835,733千円となり、前連結会計年度末と比較して164,643千円の増加となりました。これは、利益剰余金が163,113千円増加したことが主な要因であります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

主力の成果報酬型広告サービス事業において、銀行様のカードローン自主規制の強化、Apple様が実施したトラッキング制限対応（Intelligent Tracking Prevention：ITP機能と呼ばれております。）などのネット広告市場の環境変化の影響を受け、新規案件への営業強化により売上利益確保を目論んでおりましたところ、現時点で従来予想程度の業績まで補うことができない見通しであることから、通期の業績予想を修正いたしました。

詳細については、本日（平成30年2月9日）公表いたしました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,457,597	1,500,479
売掛金	900,026	748,327
原材料及び貯蔵品	—	248
前払費用	105,598	84,708
繰延税金資産	10,685	4,826
その他	7,879	12,626
貸倒引当金	△1,814	△1,573
流動資産合計	2,479,972	2,349,643
固定資産		
有形固定資産	314	3,486
無形固定資産		
のれん	92,021	74,118
その他	25,670	24,845
無形固定資産合計	117,691	98,964
投資その他の資産		
繰延税金資産	39,853	31,978
その他	24,717	26,571
貸倒引当金	△20,059	△19,609
投資その他の資産合計	44,510	38,940
固定資産合計	162,516	141,391
資産合計	2,642,489	2,491,034
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	705,298	504,320
未払法人税等	119,739	10,690
賞与引当金	15,000	9,300
その他	131,362	130,990
流動負債合計	971,399	655,301
負債合計	971,399	655,301
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	438,968	439,478
資本剰余金	344,968	345,478
利益剰余金	921,400	1,084,513
自己株式	△34,726	△34,726
株主資本合計	1,670,610	1,834,744
その他の包括利益累計額		
為替換算調整勘定	479	△1,581
その他の包括利益累計額合計	479	△1,581
非支配株主持分	—	2,571
純資産合計	1,671,089	1,835,733
負債純資産合計	2,642,489	2,491,034

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	5,428,579	6,183,405
売上原価	4,636,182	5,373,375
売上総利益	792,396	810,030
販売費及び一般管理費	411,795	506,110
営業利益	380,601	303,919
営業外収益		
受取利息	327	489
償却債権取立益	—	457
その他	—	41
営業外収益合計	327	988
営業外費用		
支払利息	12	—
為替差損	275	113
支払手数料	138	—
雑損失	—	5
営業外費用合計	426	119
経常利益	380,501	304,789
税金等調整前四半期純利益	380,501	304,789
法人税等	137,334	99,472
四半期純利益	243,167	205,317
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	—	△4,295
親会社株主に帰属する四半期純利益	243,167	209,613

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
四半期純利益	243,167	205,317
その他の包括利益		
為替換算調整勘定	270	△1,966
その他の包括利益合計	270	△1,966
四半期包括利益	243,438	203,350
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	243,438	207,551
非支配株主に係る四半期包括利益	—	△4,201

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,080,707	331,886	5,412,593	15,986	5,428,579
計	5,080,707	331,886	5,412,593	15,986	5,428,579
セグメント利益	737,274	45,419	782,693	9,703	792,396

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	四半期連結損益 計算書計上額 (注) 2
	成果報酬型 広告サービス 事業	検索連動型 広告代行業業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	5,701,597	445,794	6,147,392	36,013	6,183,405
計	5,701,597	445,794	6,147,392	36,013	6,183,405
セグメント利益	709,932	64,836	774,769	35,261	810,030

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、媒体運営事業、コンテンツ販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の売上総利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。